



2023年5月10日

各位

会社名 : 株式会社寺岡製作所
代表者名 : 代表取締役社長 辻賢一
(コード 4987 東証スタンダード)
問合せ先 : 取締役企画管理本部本部長
石崎修久 (03-3491-1141)

2024年3月期の具体的施策のお知らせ

当社グループは、2023年3月期において、連結子会社 PT.TERAOKA SEISAKUSHO INDONESIA(以下 PTI という)の固定資産減損損失 24 億 37 百万円の計上も含め、業績が大きく悪化し、早期立て直しが急務であることから、2024年3月期連結業績予想で掲げた黒字化に向け、具体的施策を下記のとおりお知らせいたします。

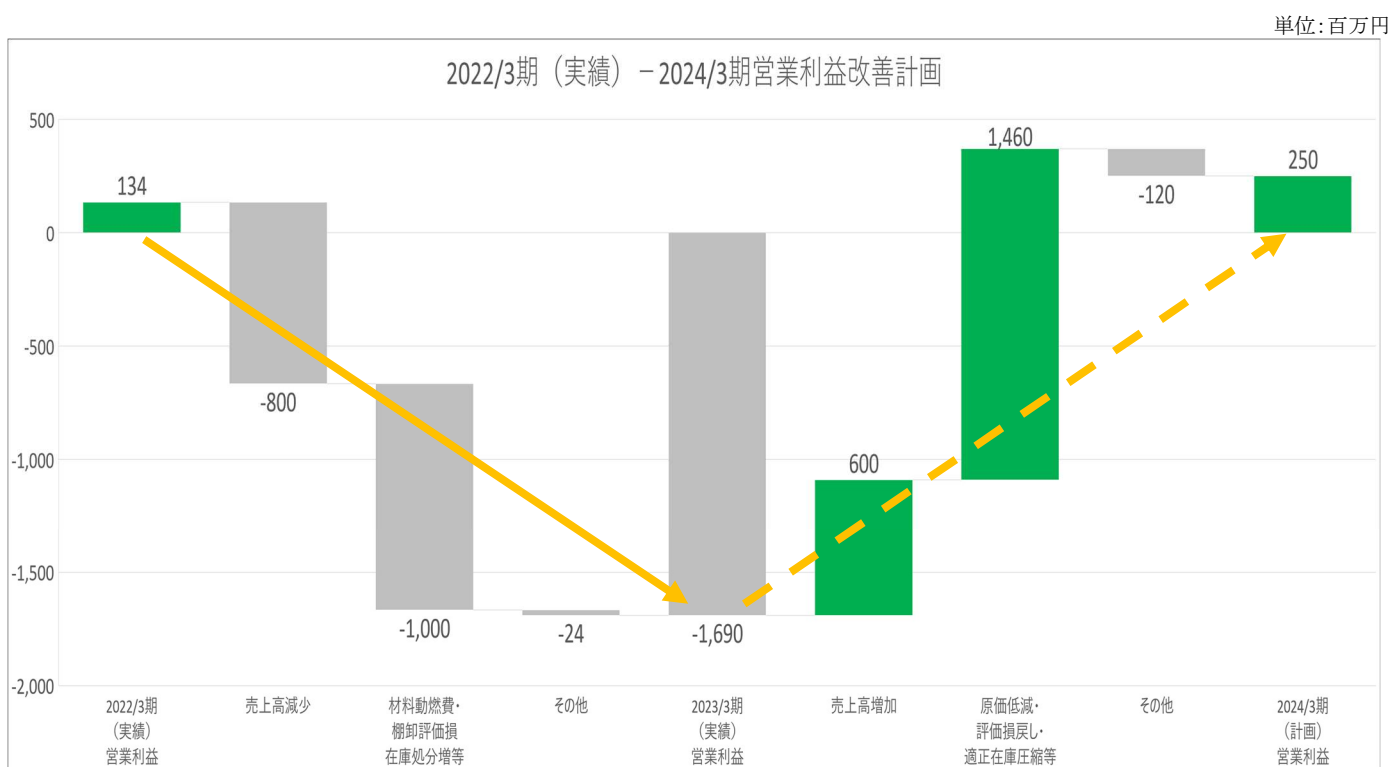
また、2021年5月1日において、第三次中期経営計画を公表いたしました。計画策定時には予見できなかった地政学リスクや原材料価格の高騰並びに円安の進行など、外部環境が大きく様変わりしたことにより、中期経営計画で掲げた成長戦略における具体的施策及び定量目標の進捗に大幅な遅れが生じていることから、今般、中期経営計画の設定期間と定量目標を見直すことといたしました。

なお、第三次中期経営計画の定量目標見直しの詳細につきましては、5月下旬を目途に公表する予定です。

1. 2023年3月期振り返り及び2024年3月期見通し

2023年3月期は、中国市況と自動車や電子部品の生産落ち込みに伴い、売上高は大きく減少。地政学リスクの高まりとそれに伴う原材料価格、燃料価格の高騰、さらには追い打ちをかけるかのような円安により、製造原価が上昇し、その結果、未曾有の営業赤字を計上しました。

2024年3月期は、前年度と同様、原材料価格、燃料価格の高止まりが続くと仮定し、下記施策(前年度より実施済施策を含む)を早期に実施して参ります。



2. 2024年3月期の具体的施策

【収益増強策】

- 費用構造を精緻化した原価管理手法導入による積極的な製品拡販と不採算製品の収益改善あるいは解消
- 前期評価損計上した長期在庫の完売による利益の発現及び全社的在庫管理の徹底
- PTIの固定資産減損による減価償却費大幅減少と新規製品含めた拡販による黒字化

【コスト削減策】

- 調達部及び情報システム部を経営直轄とし、原材料コストの削減と全社生産性向上の実現
- 技術部門内にコストダウン推進室を設置し、工場の原価低減を加速
- 外注している業務・製品のグループ内製化による製造コストの削減

以 上